



2. Effect of Electrical of Microbubbles on Ozone Dissolution(その他50件,平成24年3月作成資料参照)	共著	平成20年12月	The 6th International Symposium on Measurement Techniques for Multiphase Flows, Naha, Okinawa, Japan, Dec. 15~18, 2008, pp. 1~8.	H. Hasegawa, H. Kataoka and K. Asano
<b>II-6 (国内学会等発表)</b>				
1. Er/n型4H-SiC(0001)接触界面のショットキー障壁	共著	平成26年6月	日本素材物性学会平成26年度(第24回)年会2014.6.26.講演要旨集pp.21-22.	保坂直寿, 浅野清光
2. 電気的特性によるMo, Pt/4H-SiC(0001)接触界面に関する研究(その他40件以上多数,平成24年3月作成資料参照)	共著	平成24年3月	平成23年度日本表面科学会東北北海道支部講演会講演予稿集0-07, pp. 17~18.	進藤冷史, 浅野清光
<b>II-7 (解説・総説)</b>				
1. オゾン化超純水洗浄	単著	平成12年6月	真空, 特集号 解説記事J. Vac. Soc. Jpn. Vol. 43, No. 6, pp. 660~666.	
<b>II-8 (特許)</b>				
1. 光触媒の製造方法(その他7件,平成24年3月作成資料参照)	単著	平成23年1月	特許第4659517号	
<b>II-9 (その他)</b>				
1. 光機能性ナノ複合積層薄膜の開発と実用化研究, ナノテクノロジーを用いた次世代生産技術の創生	単著	平成22年9月	秋田高専地域共同テクノセンター第10回技術研究会講演, 研究公開, 成果報告, 地域共同テクノセンター報, 第8号, pp. 64~65.	
2. ナノテクノロジーを用いた次世代生産技術の創生(その他40件以上多数,平成24年3月作成資料参照)	単著	平成21年12月	秋田高専産学協会会報, 第42号,	
<b>III 学内外の主な競争的資金の獲得(採択されたものに限る)(過去7年)</b>				
<b>III-1 競争的資金の名称</b>				
校長裁量経費、創造教育支援経費、秋田県受託研究、インテリジェントコスモス研究機構新事業創出グループ育成事業、JST秋田県地域結集型共同研究事業、文部科学省科学研究費補助金基盤研究－展開研究(A)(共同、研究代表者 中西 強 名古屋大学大学院理学研究科教授、マルチバンチスピン偏極電子ビーム源の実用化)、国立高等専門学校教育改善充実プロジェクト、あきた企業活性化センター共同研究、文部科学省高エネルギー加速器研究機構との共同研究(リニアコライダー用拡散接合加速管の高電界化に関する研究、研究代表)、民間企業との共同研究、東北大学金属材料研究所研究部共同研究、あきた企業活性化センター産学官連携研究会支援事業、秋田大学工学資源学部との学術交流協定に基づく共同研究、その他				
<b>IV 学会等及び社会における主な活動</b>				
<b>IV-1 所属学会(記載時)</b>				
電気学会, 応用物理学会, 日本材料科学会, 日本素材物性学会, 日本加速器学会, 日本真空協会, 日本表面科学会, 高エネルギー物理学研究者会議, CERN COURIER				
<b>IV-2 外部団体からの受賞および表彰(過去7年)</b>				
日本素材物性学会山崎賞受賞				
<b>IV-3 外部委員会の委員等(過去3年)</b>				
(平成27年度)日本素材物性学会常任委員会委員(2015.7~)、第8回素材物性学会国際会議組織委員会委員(2016.2~)、青葉工業会秋田県支部高専分会長兼代表幹事、国際科学技術財団日本国際賞受賞候補者推薦委員 (平成26年度)日本素材物性学会役員会委員、青葉工業会秋田県支部高専分会長兼幹事、国際科学技術財団日本国際賞受賞候補者推薦委員				
<b>IV-4 その他の該当事項(過去7年)</b>				
(平成27年度)国境なき医師団及び自然科学研究機構より感謝状。 (平成26年度)国境なき医師団より感謝状。(平成20年度)財団法人東北大学研究教育振興財団理事長西澤潤一氏並びに国立大学法人東北大学総長井上明久氏より感謝状、(平成22年度)独立行政法人国立高等専門学校機構論文集「高専教育」編集委員会委員、(平成23年度)ASA PARK No.47 5月号 第27回秋田市立秋田東中学校卓球部(女子)篇(発行元 ASA千秋公園)、東北大学創立百周年記念事業推進実行委員会委員、秋田卓球会館スポーツ少年団育成会会長、秋田市内中学校部活動外部指導者、独立行政法人国立高等専門学校機構高等専門学校教員研修(クラス経営・生活指導研修会,機構理事長)修了証書,その他				
<b>V 担当教科(該当年度を含め過去3年)</b>				
<b>V-1 専攻科(該当年度も含め過去3年)(生産:生産システム専攻, 環境:環境システム専攻)と略記</b>				
(平成28年度)電子物性(専1生産), 生産システム工学特別実験(専1生産) (平成26年~27年度)電子物性(専1生産), 生産システム工学特別実験(専1生産), 特別研究(生産指導教員, 生産副指導教員), 校外実習				
<b>V-2 本科(該当年度も含め過去3年)(M:機械工学科, E:電気情報工学科, C:物質工学科, B:環境都市工学科)と略記</b>				
(平成26年~28年度)電気磁気学(4E), 電子回路(4E), 基礎研究(4E), 物性工学(5E), 電気情報工学実験II(5E), 卒業研究(5E)				